

野生鳥獣による全国の農林業被害の現状を知る ー農林業被害勢力図マップー



酪農学園大学 環境共生学類4年
環境GIS研究室
高塚 大、菊地 倅久

はじめに

近年、イノシシ、ニホンジカ、ニホンサル等の生息分布域の拡大、農山村における過疎化や高齢化による耕作放棄地の増加等に伴い、鳥獣による農林業に係る被害は、中山間地域等を中心に全国的に深刻化している状況にある。(農林水産省)

2013年度における全国の野生鳥獣による農林業の被害面積は、林業地が約9,000ha(林野庁)、農業地は約79,000ha(農林水産省)となった。

目的

地方によって農林業被害をもたらす動物の種構成は異なっており、その勢力の境界は曖昧である。今回、全国の農林業における鳥獣被害の現状を把握するとともに、限られた地域行政内だけでなく大きなスケール(他県同士・地方レベル)で鳥獣被害対策を考えていくことの重要性を訴えるためにマップを作成したい。

方法

林野庁のWEB上(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/higai/tyozyu.html>)で公開されている野生鳥獣による都道府県別林業被害のデータおよび、農林水産省のWEB上の鳥獣被害対策コーナー(<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/>)で公開されている野生鳥獣による都道府県別農作物被害面積のデータを使用し、被害をもたらしている動物の種類ごとにマップ上に現し、全国の野生鳥獣による農林業被害の勢力図を作成した。

使用データ

- ・2013年度都道府県別の農作物被害状況(農林水産省)
- ・2013年度年獣別森林被害面積(林野庁)
- ・2011年農業地域・森林地域(国土数値情報)
- ・2014年行政界データ(国土数値情報)

農業被害面積 (ha)

地方	シカ	サル	イノシシ	その他獣類	鳥類計	合計
北海道	45403	0	0	1719	630	47752
東北	965	138	307	549	2311	4270
関東	406	120	513	557	786	2382
中部	1775	697	1730	1854	5050	11106
近畿	2552	863	1679	394	441	5929
中国	392	250	1575	355	646	3218
四国	694	225	1107	138	331	2495
九州	2916	395	4047	571	2734	10663
沖縄	2	0	39	14	49	104



中部地方

九州地方

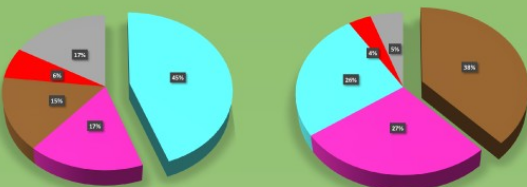


被害面積の規模が近い中部地方と九州地域の種構成を見てみると...

被害面積が同じでも被害を出している種の割合が異なる

種構成

- 鳥類計
- シカ
- イノシシ
- サル
- その他獣類



まとめ

今回、農林業被害データを元に、被害をもたらしている鳥獣の勢力図を作成した。今後の鳥獣による農林業被害の拡大防止にあたっては、その対策範囲を各行政内(都道府県)といった小さなスケールに留まらず、隣接する他の地域行政や、地方レベルといった大きなスケールで連携を取り実施していくという姿勢が望まれる。